

# 和泉川フィールドワークガイド①

里川文化塾実施日：2015年10月17日

歩行ルート目安：2時間（約3km）

吉村伸一さん（株式会社吉村伸一流域計画室 代表取締役）、橋本忠美さん（株式会社農村・都市計画研究所 代表取締役）の解説及び国土地理院基盤地図情報「神奈川」をもとにミツカン水の文化センターが作成。この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平 27 情使 第 514 号）

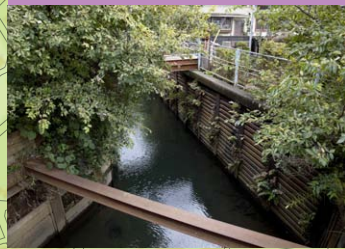


## ① ニツ橋の水辺



厚木街道のすぐそばにある「ニツ橋の水辺」。車通りの多い街道とは打って変わり、緑いっぱいの自然が広がります。自然の地形を活かした空間は、水辺へのアプローチも緩やかで、川をとても身近に感じることができます。また、遊歩道の柵は低く設置されていますが、柵との間には植栽などのゆとりがあり、親水性と安全性を考慮した設計がされています。

## ② 和泉川の昔の姿が残る場所



ニツ橋の水辺から少し歩くと、垂直に切り立ったコンクリートと鉄の板で護岸された場所があります。ここはまだ整備されていない部分で、改修前の和泉川の姿がそのまま残っている場所です。多自然川づくりによって和泉川がどれほど変わったのかよくわかります。

## ③ 東山の水辺



森と川が一体となった見事な景観の「東山の水辺」。森から川までの地形に合わせて両岸が緩やかに傾斜する設計が施され、緑で覆われた広々とした水辺空間になっています。下流に向かって左側の森は「東山ふれあい樹林」。森の中には川に沿って散策路がありますが、森と水辺が分断されていないため、水辺へのアプローチもしやすくなっています。

## ④ 大地のしわ



東山ふれあい橋の上流側は通称「大地のしわ」。三段の石積みの段差を「しわ」に見立てている箇所です。一段だと急峻になるのを、三段に分断することで緩やかなスロープをつくり出し、水辺へ向かう様々な人の動きを生み出します。石積みの護岸がカーブを描いて土の中へ吸い込まれるように消えていくディテールの処理も注目すべき点です。

### ニツ橋の水辺

やすらぎ橋



橋の上にベンチを設け、座ったときでも見通しがきくように手すりの間隔を広くとっている「やすらぎ橋」

### 宮沢ふれあいの水辺



東山ふれあい樹林の散策路



和泉川の水位・水質・水温などのデータ類が貼り出された掲示板



木造船の龍骨をイメージした「東山ふれあい橋」

東山ふれあい樹林

東山ふれあい橋

桜並木

中橋

相鉄線

三ツ境駅

歩道が狭いので注意

e モール

瀬谷区役所

中原街道

厚木街道

川を渡って少し進んだところが入口

上流

ニツ橋

和泉川

大神上橋

大神橋

東山橋

東山の水辺

4

下流

東山ふれあい橋

桜並木

流上

中橋

関ヶ原の水辺

5

斜面林

ここより下流側は  
行き止まりになっていますので  
川の反対側を歩いてください

### 5 関ヶ原の水辺



「関ヶ原の水辺」は生きものが生息しやすい環境を重視して整備され、今ではさまざまな鳥や昆虫、水辺の生きものが生息しています。そのため、野鳥写真家や虫やザリガニをとる子どもたちが多く訪れます。また、豊かな植生をもつ斜面林から連なる形で整備された水辺空間は、昔懐かしい風景を感じることができ、市民の憩いの場ともなっています。

### 6 赤関おとなり橋

赤関おとなり橋

トイレ有り  
宮沢(バス停)

6

寺ノ脇の水辺

宮前橋



鳴り車



近隣にある小学校の児童が通学路としても使っている「赤関おとなり橋」。橋詰には回転させると音がる「鳴り車」を8つ付けて、川に親しんでもらう工夫をしています。「おとなり」には「音が鳴る」に加えて、「おとなり同士の結びつき」の意味もあり、名づけ親も子どもたちです。

### 7 宮沢遊水地(上流部)

越流堤

7

山王橋(眼鏡橋)

斜面林

宮沢遊水地



5万トンの貯水能力のある宮沢遊水地。眼鏡橋の山王橋を挟んで上流側と下流側にそれぞれ洪水を溜める池があります。上流側には越流堤がありますが、上下流両端に階段を設け、遊歩道として通れる構造になっています。

### 8 宮沢遊水地(下流部)

展望テラス

8

宮沢橋

わいずみ橋



山王橋より下流は、多くの生きものが生息する小川や池、緑の芝生に覆われた広場で、住宅地になっている周囲の景観に溶け込み、日常の暮らしの中で人々が訪れたいような空間になっています。下流に向かって左側は三段の石積み、右側は緩やかなスロープになっているなど、多様性のある起伏を活かした地形処理がされています。

## 和泉川フィールドワークガイド②

里川文化誌実施日：2015年10月17日

吉村伸一さん(株式会社吉村伸一流域計画室 代表取締役)、橋本忠美さん(株式会社農村・都市計画研究所 代表取締役)の解説、及び国土地理院基盤地図情報「神奈川」をもとにミツカン水の文化センターが作成

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平27情使、第514号)